

## 記入例

### カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム カーボンフットプリント製品種別基準（CFP-PCR）認定申請書

<本ページ（表紙）は、関係者（事務局、委員、レビューア）情報共有用資料となります>

申請日	2012 年	5 月	5 日
-----	--------	-----	-----

CFP-PCRの名称	うるち米
認定CFP-PCR番号※1	PA-XX-05

※1 改訂申請の場合に記載してください。新規申請の場合は記載不要です。

CFP-PCR認定申請 代表者の連絡先等				
ふりがな 事業者名	かぶしきがいしゃシーエフピー 株式会社シーエフピー			
部署名等				
役職等				
ふりがな 氏 名	ふりがな 氏	たんそ 炭素	ふりがな 名	たろう 太郎
e-mailアドレス				
電話 ※半角		携帯		
FAX ※半角				
所在地	〒 ※半角		都道府県	
	市区郡以下			
	ビル名等			

【担当者の氏名・所属・連絡先】 (申請代表者と異なる場合に御記入ください。)				
ふりがな 事業者名				
部署名等				
役職等				
ふりがな 氏 名	ふりがな 氏		ふりがな 名	
e-mailアドレス				
電話 ※半角		携帯		
FAX ※半角				
所在地	〒 ※半角		都道府県	
	市区郡以下			
	ビル名等			

CFP-PCR策定ワーキンググループメンバー構成（企業名等）※2	
----------------------------------	--

※2 個社ではなくワーキンググループとしてCFP-PCRを策定した場合に記入してください。

同意事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権の譲渡：認定希望事業者等は、CFP-PCR原案がレビューパネルによってCFP-PCRとして認定された場合、その翻案権等のすべての著作権をプログラム運営者に譲渡するものとするに同意すること。</li> <li>・情報の利用：CFPプログラムを通じてプログラム運営者が取得した事業者等に係る情報について、プログラム運営者がCFPプログラムの実施に必要な範囲において利用することに同意すること。</li> <li>・プログラム運営者への協力：本プログラムで規程する文書の遵守に加えてCFPプログラムにおいてプログラム運営者からの指示に遅滞なく従うことに同意すること。</li> </ul>	同意する

CFPプログラム研修会・個別相談への参加実績の有無				
研修会	参加有無	不参加	参加日程	
個別相談	参加有無	参加	参加日程	●月●日

備考 ※3	
----------	--

※3 CFP-PCR原案策定における論点等や、本申請書以外に補足説明資料を添付している場合には、資料名称などを記入してください。

# 記入例

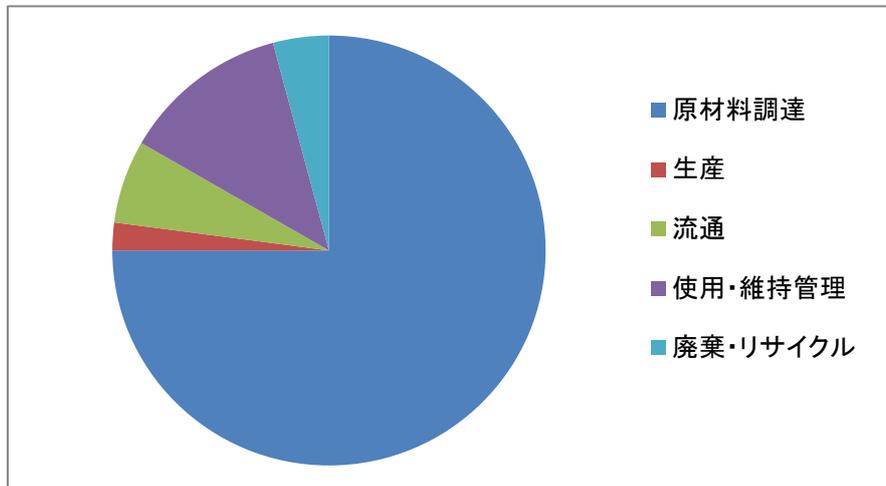
## CFP試算結果(非公開)

※以下の情報については、公開しない。

CFP-PCRの名称	うるち米		
試算した製品の名称	A社 Bブランド米		
CFP算定単位	1袋(5kg)あたり		
LC段階	プロセス	GHG算定結果 (kg-CO2e)	補足説明
原材料調達	肥料	3	
	農薬	2	
	水田からのメタン 排出	10	
	原材料の調達輸送	2	
	包装材	1	
	小計	18	
生産	精米		影響の小さい項目は1行にまとめて差し支えありません。行数が足りなければ適宜追加してください。
	小計	0.5	
流通	流通拠点までの輸 送	0.5	
	店舗までの輸送	1	
	小計	1.5	
使用・維持管理	炊飯	3	
	小計	3	
廃棄・リサイクル	廃包装の処理	1	
	小計	1	
	合計	24	

CFPの検証準備と同時並行で作業されている方は、CFP検証申請書をもってこのシートに代えて差し支えありません。

<参考>





	(例) ①〇〇プロセス ②□□プロセス …	
1-17	(7-2)、(8-2)、(9-2)、(10-2)、(11-2)の「データ収集項目」は、(7-1)、(8-1)、(9-1)、(10-1)、(11-1)の「データ収集範囲に含まれるプロセス」で規定したプロセス毎に、規定された順番に従って、収集すべきデータ項目が整然	未確認
1-18	副資材の製造または廃棄・リサイクルに係るGHG排出量は、それぞれが発生する段階で計上されているか  (例) ・ 生産サイトに投入される輸送資材などの副資材は、生産段階の負荷として計上する。 ・ 流通段階で廃棄される輸送資材などの副資材は、流通段階の負荷として計上する。	未確認
1-19	附属書は、(規定)もしくは(参考)が適切に選択されているか。	未確認
1-20	附属書にライフサイクルフロー図があるか。	未確認
1-21	ライフサイクルフロー図は、算定対象範囲となるシステム境界などが明確に設定されているか。 また、凡例は次のような記載になっているか。 ・ 算定対象とするプロセスは、実線の四角形にて表記する。 ・ 算定対象外とするプロセスは、点線の四角形にて表記する。 ・ 原材料の投入量や生産される生産物などのイプット・アウトプットは、角丸四角形にて表記する。 ・ 各ライフサイクル段階の区分けは、太線にて表記し、各プロセスがどの段階に属するのかを分かりやすく表記する。 ・ システム境界は、二重線にて表記する。 ・ プロセスのフローは、矢印にて表記する。なお、原則としてプロセスのフローは、左から右へ、上から下へ表記する。	未確認

## 2. 日本語の表記を統一するためのチェックリスト

No.	内容	申請者
2-1	「本CFP-PCRは、…」は「このCFP-PCRは、…」になっているか。	未確認
2-2	「以下の…」は「次の…」になっているか。	未確認
2-3	「関わる」および「関る」は、「係る」になっているか。	未確認
2-4	「但し、及び、並びに、又」などの接続詞は、「ただし、および、ならびに、また」などのひらがなになっているか。	未確認
2-5	CO <sub>2</sub> やm <sup>3</sup> などの数字が下付きまたは上付きにすべきところが適正であるか。	未確認
2-6	数字と単位の後にはスペースが入っているか (例) 1 m、2 kgなど	未確認
2-7	他の項目を参照する場合には括弧で参照する表記になっているか (例) (7-1)の内容に準じるなど	未確認
2-8	中黒「・」は使用せず、句点とおよびの組み合わせになっているか (例) 「A・B・C」は「A、BおよびC」と	未確認
2-9	数字の桁取りは、半角カンマで3桁となっているか (例)	未確認

	1,000など	
2-10	「(3)引用規格及びCFP-PCR」は、引用する規格やCFP-PCRが無い場合は、次の書き振りとなっているか。 (例) 現段階(XXXX年XX月)で引用するCFP-PCRはない。	未確認

### 3. よくある間違いに関するチェックリスト

No.	内容	申請者
3-1	・ MS-Wordの「変更履歴」を残しているか。(変更履歴を残していない場合は事務局まで相談する)	未確認
3-2	流通段階の表記は、「流通・販売段階」ではなく、「流通段階」となっているか。	未確認
3-3	「付属書」ではなく、「附属書」となっているか。	未確認
3-4	括弧と読点の使い方は次のようになっているか。 …( )。 …(…。…)	未確認
3-5	トンキロの表記は次のようになっているか。 「t・km」 → 「tkm」	未確認
3-6	単位記号の使い方はSI単位記号に則ったものであるか。 ・ メートル「m」、キログラム「kg」、秒「s」、ケルビン「K」など ・ ワット「W」、ニュートン「N」など ・ ギガ「G」、メガ「M」、キロ「k」など	未確認
3-7	埋立処理に係るシナリオは直接埋立処理だけの記載になっているか。 誤)X %が直接埋立処理され、焼却灰埋立も含めればY %が埋立処分される 正)X %が直接埋立処理される	未確認